

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-02 行事開催事業 □支援部門						
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	市民等に対して消防の装備及び災害防ぎょ訓練等を展示し、広く防災意識の高揚を図るとともに、消防への理解と信頼を深める。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	194	195	194			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	194	195	194			
	人員配置数	.08	0.8	0.3			
	人件費(千円)	6,656	7,115	2,904			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	6,850	7,310	3,098			
	市民1人当 りの経費(円)	39	41	17			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
消防出初式	◎	目標値	○	○	○	○	○
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	○	◎	◎	◎	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
行事開催事業	194千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	市内各自治会、企業等に消防出初式への参加を通じ、防火防災意識を高める				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	通常業務との同時進行及び非直での訓練等、物理的、予算的に限界があるが来訪者に対し、消防の仕事を理解しやすいよう工夫しながらアピールする。		
課題解決のための取組	来訪者の目線で、訓練内容や訓練位置を協議し、さらに来訪者席のレイアウトを変更するなど、より見やすく工夫した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	開催場所の確保について、今後場所の確保ができない場合の対応策について、協議が必要となる。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		今後ともさらなる工夫を凝らし、来訪者の方々に親しみやすい行事開催を目指して行きます。	課長等名 ↓ A 消防総務課長 柿崎 雅之
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
行事開催事業	主な個別事業	219 消防出初式参加団体等報償金	150	150	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							